

牛久市 農業委員会だより

2011年（平成23年）
第26号

発行人 山越 康 義
発行所 牛久市農業委員会
TEL 029-873-2111(代)
再生紙を使用しています



牛久市地域担い手育成総合支援協議会で雇用している
新規就農を目指す担い手の皆さん
入江唯晃さん 山中雅之さん 赤沼達也さん 矢口 学さん

主な内容

農家訪問	2
農地の転用には許可が必要です	3
お知らせ	4



牛久市農業委員会だよりはインターネットでもご覧いただけます

牛久市農業委員会ホームページアドレス <http://www.city.ushiku.ibaraki.jp/section/nougyou/index.htm>

農家訪問

小菊作りに情熱を

伊宝さんご一家は、正男さん、光子さんご夫婦、長男ご夫婦、祖母、娘さん、お孫さんの9人家族です。

以前は、兼業農家で野菜が主でしたが、10年程前から小菊作りを経営に取り入れ、現在約60a作付けしております。

手入れ時はヘルパーさんをお願いしますが、忙しい時は長男夫婦も手伝ってくれるそうです。

出荷は6月中旬からで、主に出荷先は農協を通して販売しております。

小菊作りで一番苦労することは、病気対策で気候にも大きく左右されますが、それ以上に出荷する時の喜びがあり、また、花が好きだから農業をやっているといけるとご夫婦揃って語ってくれました。

現在、正男さんはJA花組合の組合長をなさっており、ご夫婦は市の家族経営協定も締結されて地域農業の発展に積極的に活動されております。



井ノ岡町 伊宝正男さん、光子さん

若手のホープ

藤田文男さんは、高校卒業後ご両親と共に農業を始め、夏はメロン、後作として大根を栽培し、十一月に訪問した時は出荷の最盛期を迎えておりました。文男さんのお話では「23名の部会員と共に、統一した栽培方法と出荷基準で河童大根として東京方面に出荷されています。多くの大根産地がある中、沖繩の方々が河童大根を選んで買ってくれることは部会員としても嬉しく、また、励みになります。幅広い世代の部会員との交流はとても参考になり勉強になります。『たかが大根、されど大根』をモットーに今後も喜ばれる大根を生産し、部会と部会員が発展するよう努力して行きたいと思えます。』と抱負を語っておりました。文男さん、これからもおいしい野菜作りに励んで下さい。



上太田町 藤田文男さん

会長挨拶

牛久市農業委員会

会長 山越 康義



皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、農業委員会の運営・活動につきましては

ではご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、先般、政府より、環太平洋連携協定(TPP)交渉への「参加検討」が表明され、わが国の農業は、食料自給率の低下、業者の高齢化、遊休農地の拡大など様々な課題を抱えて危機的な状況にあるなかで、ますます厳しいものとなってきております。

また、当市においては、市100%出資による農業法人を設立し、耕作放棄地の解消、後継者のいない農地を借り上げ、農地の集約化を図るなど、市自体が牽引車となり、農業再生を推進していくという方向性が打ち出されております。

このような中、我々農業委員会は、関係各機関と連携し、農家・農業者の代表として、地域農業の振興に努力してまいりますので、皆様のご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

農地の転用には許可が必要です

—農地の無断転用をなくそう—

農地転用とは、農地を農地でなくすこと、すなわち農地に区画形質の変更を加えて住宅用地や工場用地、道路、山林などの用地に転換することをいいます。また、一時的に資材置場等に利用する時も転用となります。

市街化区域内では届出、その他の区域では許可が必要です。

● 農地保有合理化事業のご案内 ●

農林振興公社では、規模を縮小したり、あるいは農業をやめる農家等から農地の買入れをし、規模拡大を希望する農家(認定農業者等)に売渡す業務を行っています。但し、農業振興地域・農用地区域内の農用地に限ります。

◆売り手の場合

1. 公社に売り渡した場合、譲渡所得が800万円まで控除されます。(買入協議を行った場合には1,500万円まで)
2. 土地代金は速やかに支払います。
3. 農地売買に伴う届け出や登記等の手続きは、すべて公社が行います。

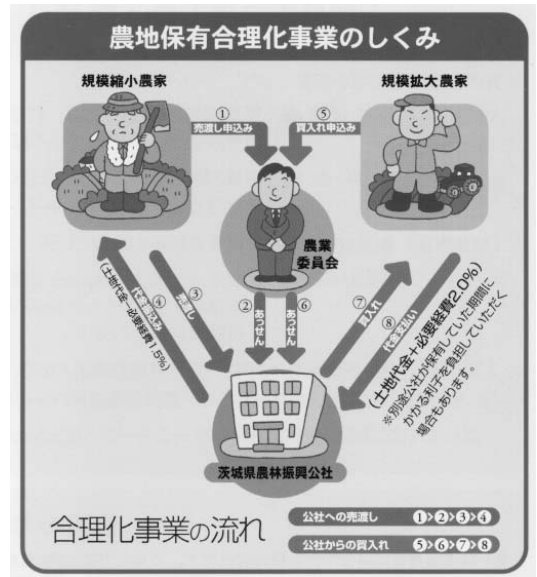
◆買い手の場合

1. 希望する農地を安心して買えます。
2. 農地売買に伴う許可申請や登記等の手続きは、すべて公社が行います。
3. 農地取得後の経営面積が、所在市町村の平均面積以上であること。

お問い合わせは、最寄りの市町村農業委員会
または茨城県農林振興公社へ

(財)茨城県農林振興公社

水戸市上国井町3118-21 TEL.029(239)7131(代)



農業委員会委員選挙人名簿は毎年一月一日現在で、牛久市に住所のある資格要件を備えている人からの申請に基づき、選挙資格を調査したうえで作られます。名簿に登載されませんと投票もリコールの請求もできませんので忘れずに申請をお願いします。

**農業委員会委員選挙人名簿登載
申請書の提出を忘れずに!**

農業者年金に加入しましょう

～農業者の方なら広く加入できます～

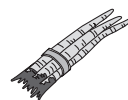
1. 農業者年金は、長い老後を安心して暮らすための公的年金制度です
2. 「積立方式」の長期的に安定した年金制度
3. 農業に従事する人が広く加入できる
4. 意欲ある担い手に保険料助成
5. 80歳まで保証がついた終身年金
6. 保険料が自由に選択できる
(月額保険料2万円が基本)



加入の申し込み、お問合せは最寄のJAまたは農業委員会に!



～お知らせ～



農業委員視察研修

去る10月28日、29日の両日、群馬方面に視察研修を行いました。

榛東村では、耕作放棄地対策として、24名の農業委員と行政でパトロールと指導を強化しているが、現実的には、農業後継者が就農しない、農地の貸し借りが進まない等の問題に直面しておりました。しかしながら、明るい材料としては、バイヤーとして勤めていた若者が、いちごハウスで観光農園を始め、順調に売り上げを伸ばしている事例もお聞きしました。

また、特産物としてネギを生産しているが、同一品種の下仁田ネギは桐箱に入って二万円円で売れ、榛東村のネギは20本で一千元という現状であり、農業振興策として、村の特産品のネギ、原木栽培のシイタケ、おいしさと安全性にこだわった無添加のハム・ソーセイ



視察研修

ジを、「村のブランド品」として、売り上げを伸ばしたいと話しておりました。特産物の重要性を強く感じたい視察となりました。(村松 昇平)

女性農業委員研修会

去る11月11日に、茨城県大子町で現地研修会が行われました。

午前中は富田会長より、大子町農業委員会の取り組みについて、遊休農地解消対策や山間地を活かした地場産物の直売や加工品、さらに食育を兼ねた学校給食への食材提供等、積極的に地産地消を推進しているとお話を聞くことができました。

午後は、農業委員の斉藤さんが経営している、りんご園を視察しました。

家族の皆さんが協力して、りんごを手際良く袋や箱に入れていた様子を見たり、心温まる様でした。息子さんには、今後農業後継者として、たわわに実った、りんごの木のように風雨にめげず頑張ってください。



編集後記

夏から秋にかけての猛暑、気象庁で30年に一度と発表がありました。

農家にとって、栽培管理にはご苦労なされたことと申します。農業情勢もかなり大変な問題を抱えておりますが『頑張る』の一言でしょうか。

私共、この度、農家訪問という新企画を取り入れました。皆様に愛される紙面になるよう頑張りますのでご支援の程よろしくお願い致します。

また、編集に協力して頂きました皆さんに心より御礼申し上げます。

編集委員

中山みつ
木村 幸子



賃借料情報

区分(10a当り)	賃借料標準額
田	10,000～20,000円
畑	3,000～8,000円

農作業標準受託賃金

請負作業標準賃金

作業名	項目	単位	料金	備考
深 耕		10a	10,000円	
ブラウ耕		10a	6,000円	
デスク耕		10a	3,500円	パワーデスク
普通ロータリー		10a	5,000円	畑
耕 起		10a	5,000円	田
代 か き		10a	6,000円	
育 苗		1箱	700円	硬化苗
畦 塗 り		1m当たり	35円	
田 植 え		10a	6,500円	条件により料金割増
育苗～田植え		10a	18,000～20,000円	
刈取り～脱穀		10a	16,000～20,000円	倒伏などの条件により上限とする
刈取り～調整		10a	30,000～35,000円	倒伏などの条件により上限とする (袋詰めまで)
乾燥～調整	玄米60kg 当たり		1,800円	(袋詰めまで)
粳 す り	玄米60kg 当たり		1,000円	
麦刈り～調整		10a	2,000円	倒伏などの条件により上限とする (袋詰めまで)
甘 諸 マルチ張り		10a	10,000円	薬剤散布含む
甘 諸 マルチ張り		10a	5,000円	薬剤散布なし
落 花 生 マルチ張り		10a	4,000円	
肥料と土壌 改良剤の散布		10a	2,500円	資材の運搬は含まない 片方のみ場合は 1,500円